

「アジェンダ21」とは「21世紀への課題」という意味です。「アジェンダ21すいた」は、市民・事業者・行政が力を合わせて、持続可能な社会の実現を目指すパートナーシップ組織です。

CONTENTS

- すいた環境教育フェア・・・・・・・・・・1～3
- すいたエコウォークワークショップまとめ・4～5
- 守りたい野草の観察会・・・・・・・・・・6
- 「自転車の交通安全について」
総務交通室訪問報告・・・・7
- イベント案内他・・・・・・・・・・8

第18回 すいた環境教育フェア

— 次世代につなごう 環境の絆 —

平成27年1月31日（土）メイシアターで、2年半ぶりに「第18回すいた環境教育フェア」が開催されました。「アジェンダ21すいた」は環境団体として参加し、メインロビーの広いブースで「吹田の環境に配慮した施設・設備を確認しよう」というテーマ及び昨年11月に開催した「すいたエコウォーク」の報告や各部会の啓発パネルを展示しました。また、資源部会は、「レジ袋削減・マイバッグ推進協議会」の一員として風呂敷講習会を実施しました。

展示テーマ「吹田の発電設備は？・あなたの自家発電設備を教えてください」

東日本大震災直後のエネルギー不足が表面化して、環境に対する意識が後退した感じが拭いきれないなか、エネルギーと環境状況を両立することを再認識していただく、の思いで吹田の発電設備を地図上に旗で示しました。

市役所や万博公園で導入している太陽光発電システムやごみ焼却熱利用を行っている資源循環エネルギーセンター（市内最大の発電量）、そのほかにも風力発電設備も旗による展示を行いました。



また、太陽光発電システムの実態把握を目指し、当日、来場者に認知しているマンション・戸建住宅ソーラーシステムを、その地図上に旗を立てていただく取り組みも行いました。

第18回すいた環境教育フェア — 次世代につなごう 環境の絆 —

展示テーマ「公共交通機関・バス・自転車を利用して、CO2排出の削減を」

大判の地図上に吹田市内の公共交通機関（JR・阪急・地下鉄・モノレール）の模型電車を線路上に展示しました。また、交通部会の提案の「BRT（専用道路を走行するバスによって鉄道並みの大量輸送を可能にするシステムのこと）バス路線」を地図上に表示しました。自転車を利用してくださいの訴えに関連して、吹田市内交通機関各駅にある、駐輪場を収容台数も示して旗で示しました。



展示パネルの周囲にNゲージの模型電車を走らせると子どもたちは興味深そうに眺め、電力の大切さとそれを生み出すシステムの話をする ことで、自然エネルギーに関心を 持っていただく良い機会となりました。

すいたエコウォーク報告展示

昨年11月に開催した「すいたエコウォーク」（環境関連施設・設備を見て歩こう）の3コースの地図と写真を添付した図面を展示しました。また、ウォーキング終了後の、ワークショップの様子、ウォーキングの感想、意見等のまとめを展示しました。



各部会啓発パネル展示



エネルギー部会は「気温が高くなるとどうなるの?」という地球温暖化問題の啓発パネルを展示しました。資源部会は「ペットボトルのリサイクル・家庭系廃食用油のリサイクル・マイボトル、マイカップでごみを減らそう!」という啓発パネル、自然部会は「植えてはいけない・特定外来生物・オオキンケイギク・ナルトサワギク」という啓発パネルを展示しました。交通部会は「BRT高速輸送システム・バスを鉄道のように走らせる」という提案パネルを展示しました。

風呂敷講習会を実施（資源部会）

資源部会は、「すいたレジ袋削減・マイバッグ推進協議会」のブースで市民部会の一員として、ふろしきの新しい活用法の講習を行いました。

千里リサイクルプラザ、母子会、消費者団体連絡会からも講師としての協力があり、100名近い受講者の皆さんに丁寧にお教えすることが出来ました。大人の方には主にレジ袋の代わりになる「お買い物包み」4種を、子供たちにはベルト通しを利用したポシェットやペットボトルホルダーを説明し、お好みのふろしきやバンダナを差し上げました。

会場では早速お買い物包みを結んで、あちこちのブースで配布されるパンフレットや試供品などを入れて活用されている親子連れを見かけました。



当日の入場者は623人でした。資料の「公共交通マップ」、「公共交通機関を利用しましょう」のポスターは午前中でなくなりました。

アジェンダ21すいたとしての、環境についての訴えやテーマが一人でも多くの方の心に届けばと思います。

すいたエコウォークワークショップまとめ

1 ワークショップの概要

今回のエコウォークでは3つのコース、江坂コース、豊津コース、吹田コースに分かれて約3キロの道を歩きました。そして、最後に内本町コミュニティセンターに集結し、ワークショップをコースごとにわかれて行いました。

それぞれが歩いたルートで感じたこと、気づいたことを付箋に書き出し、それを地図上に貼りつけ、さらにそれを見ながら、互いに発表し、追加の意見を出していく、という方法で進めました。途中で時間を切らなければならないほど、大きく話し合いが盛り上がったコースもありました。

2 ワークショップの成果

ブレインストーミング形式で出し合った多数の意見は、いずれのコースについても結果的に、大きく分けると、「発見」、「行動」、「提案」の3つに分類することができます。

「発見」

発見1	日ごろは意識しない普通の公園が、防災施設が埋め込まれた公園として重要な役割を担っていることに驚いた。また実際にあるいてみることで、地形を体感し、津波や地震に対する危険性を身を持って感じる事ができた。
発見2	吹田市内には、スモールスケールではあるけれど、生き物のいる自然、美しい自然や景観が意外とそこそこあることに気がつき、感動した。
発見3	日頃は目につかない給茶スポットの店舗があることや、公共施設や道路などに自然エネルギー利用など、環境配慮を施した施設があることに驚いた。

ワークショップで出し合った意見

江坂コース		豊津コース		吹田コース	
江ノ木公園	<ul style="list-style-type: none"> 水量調整用の巨大なタンクがあった。 トイレペーパーまでセットしてあり分かりやすかった。 公園に備えてある防災にはびっくり！吹田市内に感謝！ 防災公園が吹田市内に18か所ある。さらに7か所ほど指定の予定がされている。 防災公園としての機能充実。 	片山公園	緑が多くよかった。“吹田くわい”もよかった。	駅前商店街	<ul style="list-style-type: none"> ミストが珍しかった。 ミストは効果的。 ミストと太陽光発電があることを初めて知った。
エクセルシオールカフェ	<ul style="list-style-type: none"> マイボトルコーヒーおいしい。 マイボトル拠点スタバ他ローソン初めて知りました。 コーヒーをポットに入れてもらうのは初めてだったが美味しかった。 マイボトル持ってコヒー入れてもらえる。お得よ！ スタバのマイボトル値引きは知っていたがエクセルやタリーズも実施しているとは知らなかった。 	大和大学	<ul style="list-style-type: none"> 立派・きれい 片山地区で大和大学周辺にまだまだ空き地がありさらに「市民病院」が4年後に移転との事。これらの所が、先々どのように変貌するのか想像してみたい。 	やすらぎ苑	<ul style="list-style-type: none"> エコの集合体のような感じでした。 火葬の電力も太陽光発電を利用していると感心した。
グルメシティ	油ものの液体が入っていたペットは回収できないのだ。	支援センター 子ども発達センター	<ul style="list-style-type: none"> 初めて行った。快適な風力・太陽光・太陽熱温水器が設置されていた。 珍しい太陽熱温水器 	吹田第三小学校	<ul style="list-style-type: none"> 土地の高低が直感的にわかった 避難所の表示がわかりやすい。 土地が低い吹田の地域性が判る抜表示だった。 土地の低さにビックリ。
周辺	スイタクワイが植えられていた。	西の庄 上り道路灯 徒歩帰宅者 支援表示	足元が明るくなるのがよい。	防災公園 安威川	<ul style="list-style-type: none"> たくさんの子どもたちが遊んでいて防災機能もあるのはよい。 災害時トイレは有効。 災害時トイレを初めて見た。
糸田川	<ul style="list-style-type: none"> カルガモ、コサギがいた。 まとまった緑が少ない。川のまわりは自然がある。 糸田川のすばらしい風景 <ol style="list-style-type: none"> ①カモが元気に住んでいる。 ②白サギがいる。 ③清掃が行き届いている。 糸田川に自然がある。 白サギと合鴨が餌を食べていた。 	防災セブテイルロード 西ノ庄	<ul style="list-style-type: none"> トイレ等の設備があることを知って、安心した。今まで何度通っても全く気付かずだった。 レスキューBOX、マンホールトイレに驚いた。 今まで気付かなかった。 	渡し 吹田の	<ul style="list-style-type: none"> 川の水がきれい。 昔日の姿を想像できた。
		豊津コース全体	<ul style="list-style-type: none"> 公園に防災グッズがあり安心。 街路樹の種類が多いのがよかった。 豊津コースで、ごみ拾いの結果、ごみ約100、空き缶2個でした。 すいたウォークに参加したことで、これまで知らなかった場所、建物等を新しい吹田市を発見できて良かった。 	浜屋敷	<ul style="list-style-type: none"> 昔の風景が想像でき、吹田の街の起源も理解できた。 交流の場として文化的。
				高浜 アドプト ロード	花の手入れが行き届いている。府と市による2つの制度がある。
				全体 コース 吹田	水にまつわるコースでした。

「行動」

行動1	今回のウォークを通じて、エコに対する関心が深まり、自分自身の行動がエコでないことに反省したなどの意識が変化した。		
行動2	マイボトルを實踐したい、廃油を回収場所に持参したいなど、自ら実際にエコな行動に踏み出したいとの意見もみられた。		
ワークショップで出し合った意見			
江坂コース		吹田コース	
エクセルシオールカフェ	これからはマイボトルを實行したい。	味舌水路	水が流れている夏場に散歩したい。
花とみどりの情報センター	今後は油は廃棄場所に届けようと思いました。友達にも教える。		
		全体	
		<ul style="list-style-type: none"> ・知らないことを知る喜び エコに関心をもちました。 ・地球に限りある資源は大事にしないと反省しました。 	

「提案」

ワークショップで出し合った意見			
防災関連について		ペットボトルの拠点回収について	
表示周知 訓練が 必要 施設の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・江ノ木公園が防災公園であることをもっと周知徹底するために広報に注力すべきと思う。 ・西の庄付近LED道路照明灯・徒歩帰宅者支援ルート表示について知らなかった、知らせる必要あり。 ・災害時トイレを多くの人に知ってほしい。 ・非常時に一目でわかりやすい表示が必要。 ・災害時の道路標識は早急に設置する必要あり。 ・市民に知らせる方法を考える必要がある。 ・海拔表示(5.8m)は初めて見た、豊津コースで防災公園がニヶ所、小さいのでは ・4mの津波が来たらもっと高い建物へ逃げないと…。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルの回収拠点をもっと市民に徹底する必要がある。 ・ペットボトル回収拠点はもっと必要だ。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・整備されているのはいいが、実際に使用できるのか疑問。支援ルート板も同様。 ・防災用トイレの使い方を防災訓練で教えてほしい。 	自然エネルギー利用について	
	<ul style="list-style-type: none"> ・他の公園にも災害時トイレを設置してほしい。 ・災害時に公園に井戸(エンジンポンプ、電動ポンプ、手動ポンプ)設置してはどうか。 ・鍵の管理は？大阪府。緊急時に使えるようにしてほしい。 ・南北がわかりにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーラーや風車があったが吹田市の中で少しでも増えることを希望する。 ・ミストの設置位置が不適切。顔近くが良い。 	
		水と緑について	
		<ul style="list-style-type: none"> ・市内北部に比べ、全体的に緑が少ない。緑化政策を進めるべき。 ・植栽の管理が不十分。 ・いつも水が流れているとよい。 	

3 考察

2013年秋に行った第1回目のエコウォーク(北千里地区)では、地域に緑が多いため、観察の対象は美しい景観や、自然に向けられていました。2014年秋の第2回目については、企画段階から、「市内に多数の歩くイベントはあるが、それらとは全く異なるアジェンダならではのウォークにしたい」との実行委員会の願いで、3キロほどの道のりを歩きながら、まちのそこそこにある自然や景観、防災施設や自然エネルギー施設、リサイクルに関する施設や取り組みを見てまわることには焦点を置いて行いました。

通常、環境関連施設を見学するというと、高度で先進的な環境施設を見学する、ということになるでしょう。10年前にアジェンダ21すいたが誕生した時の計画書に掲げた将来の吹田の町のイメージは、遠くのまちから見学に来たくなるような数十mの羽根をもつ風車が回っていたり、メガソーラーが設置されていたりと、そんなまちのありかたを目指したわけではありません。

しかし、自分たちが普段何気なく暮らしているまちの至るところに防災や環境の施設や取り組みが埋め込まれていて、またそれらは意識しなければ気がつかずに通り過ぎてしまうささやかなものです。エコウォークを通じて、それらを発見してもらい、もっと身近な施設として市民の皆様に関心を持ってほしい、活かして欲しい、増やしてほしい、そして市民目線からよりよいものにしていきたい、そのような願いで行った今回のウォークでした。

身近に町にとけこんで普通であたりまえで日常的にあるエコな施設や工夫、暮らし、まさに、当初の計画書にそったエコウォークとなったと思います。歩くからこそ発見でき意識を高めることが出来るエコウォーク、これからは吹田のあちこちで企画して参ります。
(すいたエコウォーク実行委員会)

守りたい野草の観察会(自然部会)

12月22日(月)阪急豊津駅から糸田川、神崎川の堤防を歩き榎木橋からアメニティー江坂までのコースで、野草の冬芽やロゼットと吹田の大木の観察会を、すいた市民環境会議の平軍二さんを講師に迎えて開催しました。

豊津駅から上の川合流地点を経て糸田川の堤防を歩き草地の野草のロゼットや冬芽の観察、堤防にある楠の古木の幹回りの計り方の実演など、吹田の古木・大木の観察や解説もありました。

糸田川と、合流点から榎木橋までの神崎川ではカルガモ、マガモ、青鷺、子鷺、川鶉、ゆりかもめ等多数の水鳥、野鳥の観察もできました。寒い日でしたが皆様大満足で、最後はアメニティー江坂の楠、プラタナスの大木を観察して解散しました。

今回は仕事や風邪などで自然部会のスタッフが少なく、資源部会等の応援を頂いて無事、事故もなく終わりました。今後も互いに協力して、より充実した活動に取り組みたいと思います。



糸田川の沿いの花壇にて、野草観察



神崎川のゆりかもめの群れ



糸田川の堤防にて、草地の野草観察

自転車利用の促進・自転車交通安全教育について 総務交通室訪問報告（交通部会）

交通部会では、地球温暖化防止・CO2排出削減に向けて、自動車利用を控え自転車利用の促進を図る取組を行っています。自転車の適切な利用のためには、ルールやマナー、交通安全についての知識も大切です。これらのことについて、2月19日（木）に吹田市の総務交通室へ話を伺いに行ってきました。

総務交通室からは海江田主幹、石本主査、山藤主任、交通部会からは片岡、岡崎、筏、鶴田、事務局からは小松主任、の合計8名が出席しました。

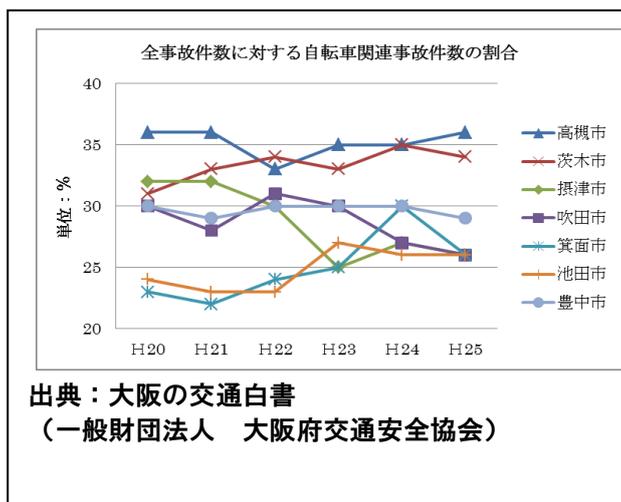
海江田主幹から以下5項目の内容をお聞きしました。

- ①春と秋の全国交通安全運動
- ②広報啓発活動の推進
- ③児童・園児に対する交通安全教育
- ④交通安全指導の実施
- ⑤その他の取組

その中で全ての交通事故に占める自転車関係の事故の割合が、吹田市は周辺の人口が同程度の市に比べて大きく減少しているという話がありました。

それによると3年前と今とを比較した場合に高槻市は変わらず35%、豊中市は30%から29%の微減だったのに対し、吹田市は30%から26%と目に見えて減少しているとのことでした。

これは総務交通室と吹田警察署が交通安全の意識の徹底のため市内の小学校全35校で1年生には「安全な歩き方」、3・4年生には「安全な自転車利用」などの教育を行ってきた成果のひとつといえます。



しかしながら大人の自転車のマナーについては徹底されているといい難く、なかでも代表的な「ながら運転」は、大阪府道路交通規則で罰則として5万円以下の罰金と定められているにもかかわらず守られていないのが現状です。

交通部会では、CO2を出さない自転車利用の促進を図るため、今後も大人の自転車のマナーの更なる啓発活動を進めていきたいです。

(ながら運転例) ※イラスト 大阪府警察HP



① 大音量で音楽等を聴きながら



② 携帯電話・スマホを使用しながら



③ 傘をさしながら

各種募集・イベント案内

みどりのカーテン講座・暮しのCO₂ダイエット 取組報告会

窓辺や壁でつる性の植物を育て、暑さを和らげませんか。みどりのカーテンの作り方の実演指導を行います。ゴーヤの苗の配布も（1家庭2株）。環境家計簿の取り組み結果報告会も同時開催します。

- ◆とき／5月30日（土）9時半～正午
- ◆ところ／勤労者会館大研修室
- ◆定員／100人
- ◆費用／無料
- ◆申し込み／5月1日（金）から電話でアジェンダ21すいた事務局（環境政策室（6384-1782）へ。
- ◆問い合わせ／電話かファックスで同室へ（FAX6368-9900）。

吹田産業フェア

吹田ストリートダンスフェスティバル、友好交流都市紹介コーナー、市民による和太鼓・バンド演奏、商業祭、農業祭など、大人も子どもも楽しめる催しがたくさんあります。

環境部のブースにて、アジェンダ21すいた資源部会で風呂敷講習会を開催します。ぜひ、ご参加ください！

- ◆とき／5月9日（土）、10日（日） 両日とも10時～16時
- ◆ところ／メイシアター（吹田市文化会館）、吹田市役所駐車場
- ◆費用／無料
- ◆申し込み／不要
- ◆主催／吹田産業フェア推進協議会



ホームページで、イベント情報や活動スケジュールなどをお知らせしています。

アジェンダ21すいたのホームページでは、イベント情報や活動スケジュール、環境講座データベース「レインボーすいた」などの情報を掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

ホームページ <http://www.ag21suita.org/>

アジェンダ21すいた入会のご案内

持続可能な社会をめざして、一緒に活動しましょう！

【会費】

- ◆正会員 個人1,000円／年
団体5,000円／年
- ◆賛助会員 1口1,000円／年
- ◆準会員 無料

【会員特典】

ニュースレター・各種案内資料の送付
部会活動への参加、主催行事への参加など

アジェンダ21すいたニュースレター

第34号（平成27年4月25日発行）

発行：アジェンダ21すいた事務局

〒564-8550 吹田市泉町1-3-40

吹田市環境部環境政策室内

TEL：06-6384-1782 FAX：06-6368-9900

E-mail：env-keikaku@city.suita.osaka.jp

企画・編集：アジェンダ21すいた『エコセン』